



特 243

86

資料第二輯

國民再編成と歸農問題

438

農村更生協會

始



86
國土計畫資料第二輯



國民再編成と歸農問題

農村更生協會



歸農對策懇談會出席者氏名

(順序不同・○印發言者 十月十五日於農相官邸)

商業組合中央會	坂田武雄	○加藤完治
東京府商業組合研究會	○增谷眞	○杉野忠夫
東米商聯副理事長	○川西伊平	○西村富三郎
同 總務部長	○吉本芳太	○寺島貞彦
全米商聯副理事長	○服部崎	和田調整課長
同 書記長	○瓜生田岩	湯河米穀局長
同 業務部長	○池上秀三	石井事務官
東京新炭同業組合長	○稻見長三	平山監理課長
山梨縣精米株式會社社長	○中山	佐野企畫課長
同 營業部長	○穴山	井出山林局長
東京新炭同業組合淺草副支部長	○白村由之助	並木木材統制課長
兵庫縣商工更生委員	○北浦誠太郎	○周東經濟更生部長
東京府企畫課長	○松浦誠太郎	○崎田經濟更生部總務課長
商工簿記研究所長	○笠原千鶴	○寺內事務官
滿洲移住協會	○山西田近太	○野田事務官
同	○山名大助	○竹山技師
農村更生協會	○土屋大助	○西垣技師
		○淺川其二
		○拓務省技師
		○農林省側
		○青少年義勇軍訓練所長
		○滿洲國開拓總局參與
		○前長野縣御牧原農場長
		○亮子河協和開拓團之長

目次

問題の所在(崎田).....	三	配給者から生産者へ再編成(周東・加藤).....	三三
米穀商の現状(瓜生田).....	五	満洲へ民族大移動(杉野).....	三五
再編成途上の東米商聯(川西).....	八	轉業の統制を要望(北).....	三八
薪炭商の現状(稻見).....	一三	満洲認識運動を展開せよ(周東).....	四〇
中小商業者の轉業問題(松浦).....	一五	指導に非ず自主的運動を(穴山・川西).....	四一
山梨米穀商の再編成と 歸農運動(中山・穴山).....	一八	企業合同の齎すもの(周東・加藤).....	四三
問題は實行一途にある(加藤).....	二五	留意すべき事項二三(野田・加藤).....	四四
歸農問題の指導精神(周東).....	二九	轉業者の満洲歸農事例(寺島).....	四五
		満洲は米作の適地(西村・加藤).....	四八
		むすびの言葉(周東).....	五一

國民再編成と歸農問題

昭和十五年十月十五日・農相官邸に於いて



問題の所在

崎田(經濟更生部總務課長) 一寸御挨拶申上げます。本日は御多用の所、多數お集り願ひまして、有難うございました。最近に於ける統制經濟、特に配給機構方面に關する統制の強化、並に工業方面に於ける重點主義と申しますか、これも矢張り一つの統制の結果であると思ひますが、職業分野に相當の影響を惹起すやうな事態に相成つて参つたのであります。農林省としましては、さきに、米麥その他食糧品關係の部門を一括致して、その生産から配給に至るまでを総合的に處理すべしといふことに相成りました。又農林、水産業全般に關する問題としては、これに關聯して、資材その他各方面を総合的に處理すべしといふことに相成つたのであります。この新しい機構の立場から見ましても、又時局の關係から申しても、今後起つて参ります、國民の職能の分野に於ける異變に對しましては、現下の状態に處して、最も適切な措置を講ずるの必要を認めて参つたのであります。所謂、職能の再編成と申しますか、新しい時代の要求に基いて、國民各個がその職責に應じて擔當すべき部門の上に於きまして、充分にその使命を果し得るやうに、全國民の職業分野に亘つて適切なる職能再編成の措置を講ずるの要が緊切に相成つて参つた

のであります。

左様な立場から、全體的に國家としてのこの問題の處理の方法に對する研究調査等を進めますると同時に、他面には、二三の事例につきましては、直接事態の發生致して居ります事柄について、具體的に、これが適切なる措置方法を考究することに致して參つたのであります。その概況につきましては、後程お話の出る機會があると存じますが、斯様な意味から本日は、或は総合的に問題の發展に關しまして、或は又具體的な事例の取扱ひについて、その今後に於ける發展の方法なり、又政府としての採るべき指導の措置なりについて、隔意のない皆さんの御懇談を煩はし、この事態に對處すべき適切なる方策を發見致したいと斯様に考へて居る次第であります。

この問題全體は、單に農林省の問題ではないのであります。或は厚生省、或は商工省、或は拓務省、陸軍省、海軍省等、いろ／＼關聯致す所が廣いと存するのであります。従つて、その進行につきましては、それ／＼政府部内の各専門機關と充分なる聯繫をとりまして、その措置を致さなければならぬと考へて居ります。唯、差當りの問題としては、急速に、現實に起つて參ります事態を處理すべき關係から致しましても、多少、左様な手続きに充分な點がないに拘らず、それを承知の上で、進めなければならぬやうな場合も起つて參るものと存するのであります。左様な點は、前後の措置として可急的に速に修正を致して參らなければならぬと思ふのであります。何にしましても、事態は現實に急迫致して居り、これが措置は焦眉の急として、差迫つて居るやうな次第でありますので、左様な點について充分に處置致したいと考へては居りますが、手落ちがないとも限りません、それらの點は、御出席の各位にはこれに應じて適切なる御忠言を頂いて、遺憾なきを期したいと存するのであります。それでは、順序といふ譯でもありませんが、全米商聯の方から、現在までのいろ／＼な御事情や計畫等をお話して頂きたいと思ひます。

米穀商の現状

瓜生田 (全米商聯) それでは私から簡単に米屋の現在の状況を申し上げて、政府としても眞剣にこの問題をお考へ願ひたいと思ひます。

今日は米穀局長もお見えになつて居りますので、米の事情については御存じでありませうが、政府の方で、米の國家管理といふ部面の強化のために、産地に於いては、買出商移出商が現在どうしたらいかといふことで、その方向について非常に心配して居ります。従來は買出、移出商の活動の部分が多かつたが、今度は組合自ら集荷についてやつて行きますので、全國に米屋が二十萬あるとしても、その中に買出し、移出商が相當多くありますので、この方面に於いて、従來、農家と直接の結付きをして居りました者が悉く無くなるので、買出し、移出商の處置といふことが、全米商聯としては非常に大きな問題となつて居ります。

然も、その米の買出しとか、移出とかいふ業に携はつて居つた關係上、産地に於けるこれらの業者の歸農といふことは、米に非常な關係を持つて居ります。米を賣る方面から、米を作る方面に變はる、といふ聯關があるのぢやないかと思ひます。我々は何處にやられるんだ、といふ不幸な叫びがありまして、——時節柄であるから、國家のために已むを得ないと思ひますが、——この點に就て一つ、産地關係の方をお考へ願ひたいと思ひます。

同時に最近の傾向としては、——本日は東米商聯の方もお見えになつて居りますが、東京の米屋を初めとして、各六大都市に於いて米の共同精米、共同配給をするといふやうなことになるまで、非常に米屋さんの整理淘汰といふことが行はれ、共精、共販といふことが國の方針といふ形になりましたので、今申上げたやうに産地の買出し、移出商のみでなく、全面的に業者がその行く先について眞剣に惱んで居ります。

唯、こゝで、歸農問題と關聯して、米屋さんとしては、國の方針を明確にして貰ひたいといふことが、全國の業者の非常な要望になつて居ります。企業合同するなら、すると、政府の方針を明確にして貰ひませんか、どうも滿洲へ出掛けるといふやうなことは、殊に突飛な問題のやうにも感じて居りまして、この點について、政府が本當に積極的な踏切りをして頂き、早く方針を明確にして頂きたいといふことが考へられて居ります。又、今日は山梨縣の方もお出のやうですが、甲府に於いて企業合同をやられた實例を見ましても、各縣に於いて自由にやつて居られますが、農林省に於いて、これに對する方針をはつきりお示しを願ひ、轉業の問題については、特別に政府に於いて補助、助成をして頂いて、「君達は商賣をやめて、積極的に國家の生産部門に協力するんだ」かういふ氣持を起させて、餘儀なく轉業するといふよりも、積極的に國家に御奉公するといふ意味のことを植ゑ付けて頂きたい。この點は氣持の上のことですが、業者の要望の一端を申上げて置きます。

歸農の問題については、實は、歸農といふよりも、私の方では、滿洲糧穀會社で斡旋され、糧穀會社の事務員として米屋さんを採用されることになつて百名程申込みましたが、不採用の者もあつて、まだはつきりきまつて居りませんが、さて、開拓移民といふことになると、より以上躊躇され、不安とする所がある。店員といふやうな身輕な方達の轉業は、農村へ行くにしても體力もあるし、店主が歸農するより非常に樂だと思ひますが、店主が轉業する場合——滿洲へ出掛けるといふ場合に於いては、家族の援助手當も考へなくてはならず、一年間にその實を結ぶかどうか分りませんから、一定期間の手當を考慮して頂いて開拓が出来て、家族を呼迎へることが出来るやうな方法を講じて貰ふ必要があると思ひます。組合としても轉業補助といふやうなものを出すことになつて居るが、政府としても、或る程度家族の手當を考へて頂きたいと思ひます。又米屋とか炭屋は、他の業者とは違つて體力が整つて居るが、それでも農民とは多少趣きを異にして居りますから、滿洲の土地に於いても、あまり酷い、山の上へ

追やられるやうなことは困りますので、出来るだけ蔬菜園藝とか、或は開拓された土地とか、微力でも耕すことが出来るやうな所を欲しいと思ひます。かういふやうな所が果してあるかどうか、それから都會に育つた者として、醫療施設とか文化施設が缺乏して居ると、農村の人達とは違つてどうも意氣が挫けはしないかと思ひますので、さういふ點についても、御考慮願つて、業者の方へその頭をしみ込ませるといふ意味から、滿洲へ行かれた方の實驗談とか、講習、講演會といふやうなものを開いて、實際に滿洲のいゝ所を教へ、同時に開拓に於いては、實際に骨が折れるといふ實情をよくお話しすることが必要だと思ひます。滿洲へ行くことを決心するについては餘程の決意を固めなければならぬ。さういふ點について、政府からも業者の方に呼掛けて貰ひ、實際の滿洲を見て来る——これも只ではいけないから——實地の視察とか、或は内地の訓練所を見せて頂いて、さうして決意を固めさせてから行くといふやうな點に御考慮願つて、業者が滿洲移民に不安を持つて居るのを取去るやうにして頂きたい。今後の指導については業者に對して、農村の方と違つて特別な待遇をしてくれといふのではありませんが、非常に難かしい問題でありますので、この點特にお願ひ致します。

全米商聯としては、各地方から、滿洲へ行くなら行くとはつきりした點を明示してくれといふ注文が来て居りますので、パンフレットのやうな物を全國の米屋さんに配るとか、或は私の方でも、理事長會議を開いて趣旨の徹底を計り、各縣の縣米商聯の會議などにもお役所の方から来て頂いて、この點について御説明を願ひ又其の關係の、農村更生協會、滿洲移住協會等の方々のお話も聞くといふことにして、漸次に進めて行くやうにしたいと思います。さういふやうに業者に呼びかけて頂き、業者をその方へ向けるやうに、積極的な對策を進めて頂きたい、斯ういふやうに考へて居りますが、これらについて、細かいことを申上げたい點もありますが、大體考へてる點を大ざつばに申上げた次第であります。

崎田 それでは次に東米商聯の方の御様子をどうぞ。

川西 (東米商聯) 私は東米商聯の川西であります。東米商聯が白米業者の共精共販、企業合同を企てましてこれを發表致しましてから、官界、民間共に多大の御關心と御援助を頂いて居りますことは、この機會、厚く感謝致したいと思ひます。

私共の企業合同に當つて、本年三月の調査の結果から推算致しますと、一萬五千人程の餘剩人員が出る筈であるといふことを發表したため、非常な御關心と御支援を願つた譯であります。實はその數は、當然さうなるべき數字であります。今日になつて見ると非常に變つて驚く程減つて來て居るのであります。數字の推定は後程申し上げますが、日が立つと共に私の方では餘剩人員が減るのであります。これは所謂失業者といふものが自然解消するから、喜ぶべき現象かといふに、私共は寧ろ悲しむべき現象だと考へて居ります。私共は轉業對策に重點を置いたのであるが、それは消極的に、失業者を出してそれを救済するといふ救済問題として考へたのではなく、これを積極的に、國家的に轉換しなければならぬと志したので、今日の狀態を甚だ遺憾に思つて居るやうなことであります。

昨今、轉失業問題及び、中小商業者の救済問題といふものが、政府におかれても非常に熱心に御研究下さつて居るのであります。私共からしますと、所謂、轉失業對策、或は中小商業者の救済對策といふ意味でもつてこれを考へて頂きたくないと絶えず申して居つたのであります。しかし、今日政府としては、失業者救済といふ一面消極的な御心配と、私共が考へて居りました意味での積極的な對策を御心配下さつて居ると思ふのであります。で、消極的に發生した失業者と申すと、七・七禁令の營業であるとか、或は五・一政策の轉換の營業であるとか

或は配給統制を受けた營業であるとか、さういつた營業から餘儀なく出て來た失業者とかいふものは、相當お氣の毒な失業者であると伺つて居るが、これは確かに救済しなければならぬと思ひます。しかし斯様に消極的に發生する失業者は、これは成るべく出さない方がよいのであります。これは不用意であつたから出たといふことも私共は考へるのであります。

私共の業界としては、放つて置いたら、消極的の失業者——自然淘汰による失業者が相當出たであらうと思ひます。左様なことになつて、國家の救済を仰がなくてはならぬといふやうなことになることは、この場合業者として非常な恥辱であると考へたのであります。これを業者自身として、所謂高度國防國家建設のために變更するといふ建前から、それを計畫的に自からも救ひ、國にも報恩といふ建前をとつて行つたならば、自然發生的の失業者などは出さずに済むと思ふのであります。

そこで私共の業界としましては、今問題にして居る轉業對策は、所謂積極的に出した餘剩人員の問題であつて、これは今まで、例へば私共の業界の者が二萬九千人といふ人間でやつて居つた仕事を一萬人でやつてのけやう、さうして現在のやり方では四千人といふ人手不足で困つて居るものをかへつて、一萬五千人をはき出さう、かういふ計畫であつた。斯様な意味からすると、餘剩人員をせいく、澤山出すべきであるといふ建前でありました。これが今日になると大變減つてしまつたのであります。

で、非常に御期待下さつて居る方々に對して、この際、あまり豫算違ひが起るといけませんから、一寸御説明申します。京橋區としては、本年三月の調べであるが、業主の數が二百三十三人、業主共従業員が六百八十五人で家族従業員、雇人が四百五十二人であつた。それが本年九月現在では、細かく調べて見た結果、京橋、月島警察署管内で、業者の合計が二百二十七人で、六人減つて居る譯である。それから従業員を調べて見ると、家族従業員が五

十五名、店主、雇人が百六十九人、計二百二十四名で、春の調べと比較すると約三割は自然流出して居る譯であります。更にその内譯を細かく御覽願ふと、業主に於いて二百七十七名の中、女子が五人、七十以上の老人が一人、六十以上が二十名、その他病人で働けない人が四、五人居ります。それから出征中の者も四五名居ります。それから従業員の方でも、現に出征中の者十二月に入營する者、來年一月、二月に入營の見込の者などが三十五名ある。尙、その他に特殊技能を持つて居つて、轉業の用意があり、心配のない者が相當居ります、そんな風に敷へて見ますと、この二百二十四名の従業員が更に相當減り、本當に轉業を心配して行かなければならぬ数は、先づ、結局春の調べの四分の一位になるのではないか、——尤もこれは京橋區内を調べて見たもので、全業者を調べたらどういふ變動があるかも知れないが、京橋一區についてその後の移動状況を調べると左様な具合になつて居ります。

で、斯様に減つて行く結果、所謂新體制による再編成の配給機構としまして、一萬人あればいふのが、彼は一萬人になりはしないか、——大して餘剰が出ない結果になるかも知れません。京橋區の新體制による必要人員は二百三十三人で、こゝに店員として現左二百二十四人居りますが、只今の入營その他減るでせうから、はつきり分らないが百四、五十人の者が残ると思ふ。これを新體制の方へ使へば使へないこともないでせうが、今日新體制の仕事は、年寄でも、女でも、又身體の弱い者であつても、業主は擧つて新體制の一翼に参加して、所謂勤勞奉仕の體制をとるやうにし、中には満足に働けない者があつても助け合つて、少くとも米の配給に當つては、業主の數を限度として間に合せるやうにして行くとすれば、春の調べの一萬五千人の中、三分の一——少く見積れば四分の一程度の者が積極的に轉業對策を考へてやらなければならぬ對象であると考へるのであります。マア數字の豫想では左様な具合であります。最後の調べをしたら果してどうなるか分りませんが、さういふ實例もあることをお含みの上お考へ願ひたいのであります。

で、左様な次第で、私共の方に對する對策としては、寧ろ、この出さうとする餘剰人員を無計畫に散逸しないやうに對策、指導を徹底して頂かなければならぬ。我々業者としてはさういふ心構へであります。その對策としては何にしても、この企業合同は斯様にしてやるんだ、その結果、若い者の餘剰人員をかういふ方向に向けるんだといふやうな、はつきりとした方針を決定して指示して頂くことが、所謂店員、青少年の店員の腹もきまつて動搖しないことになり、徒らに散逸することを防止する一つの對策であると思ひます。

何にしても、私共の業界は今度の新體制によつて、店主は失業しないといふことが大分徹底して來ましたので、自分は出て行つても少くとも主人は心配ないといふことが、相當店員の浮腰を喰止めて居ると思ひます。これが若し主人が今に失業するぢやないかといふのでは若い者は止まつてゐないと思ふ。私共の方ではさういふことを早く明示して居るから比較的落付いて居るが、他の業界に於てもその安心を與へることが、現在の人員を散逸させない第一の對策であると思ひます。

それから散逸しない對策と同時に、出て來る餘剰人員をどういふ方面に向けるかといふ方針を明示して頂きたい——今日は歸農對策についての懇談會であるが、歸農にしても、内地農村への歸農を奨励するならそれは奨めなくても行くと思ひますが、所謂滿洲開拓、その他外地開拓に専ら國の方針として向けるかどうかといふこともはつきりした方がいふと思ひます。内地に於ける歸農對策だつたら、寧ろ奨める必要も何もないと思ふ。奨めなくても、今店員はその業主に對して、義理人情にかられて、國へ歸りたくも歸れないで止まつて居るといふ實情が相當ある寧ろ大半であらうとさへ思ひます。これを解放すれば、喜んで歸農する者が相當出ると思ひますので、農村へ歸れといふことは言はなくても歸る者が多い。それは他の若い者と違つて、米屋の店員は農村から出て來たばかりで、都然も、住込生活で、勞働一方で、非常に質實な勤勞生活を續けて居りますから、都會の害に染まつてないので、都

會に止まつて文化生活をしたいと考へる者が少い。故郷に手が足りないといへば、喜んで歸る者が多いと思ふ。ですから田舎へ歸つて宜しいといふのであつたならば、さう心配しなくてもいふと私は考へます。これは國の方針として田舎へ歸すよりは、國土開發計畫によつて、國の方針で、滿洲へやらなければならぬとしたら、非常に適格者だと思ふ。先程申上げたやうに、元來百姓の家に生れ、百姓の手傳をして居つた者が、高等小學を出るとやつて来たのであるから、勞働に對して力もあるし、又國を出て他人の中で一度泣いて来たからホームシックの方も免疫者である。いろ／＼考へると、滿洲向きにはもつて來いの適格者であると思ひます。

それから、これを滿洲に追やるといふ意味でなく、お前達は本當に日本の國土開發の拓士であり、戦士であるといふことを積極的に吹き込みましたならば、若い者は血氣に燃えて喜んで行くと思ひます。私は近頃、本省の方々からいろ／＼お話を伺つたり、お話ししたりして居りますので、家の私の店員について當つて見た。廿歳前後のさういふ年齢の者が今年兵隊検査を受けた者を入れて六、七人あるのでそれらを私の部屋に呼んで一晩話して見たところ「僕を先にやつて下さい」「僕は何でも行きたい」といふのが全部です。まだこれは私の店だけで外へ言ひませぬ、まだはつきり方針が立つてゐない所へ言ふと動搖すると思つて自分の店員にだけ話したのですが、行くといふれば早い方がいふと申します。であるから、私は國の方針が、それが最も重要であるといふことにきまれば、その積りで奨めれば私は至難でないと思へる。それからさうときまれば、その準備施設について具體化を急いで頂く、又それらの訓練の方法についても、至急に具體的な案を樹て頂くといふことが望ましいのであります。

さうなれば——これは私の夢であるが——これらの青年を滿洲へ送るとすれば、これはそれ／＼故郷があるから故郷から、分村地へ行くのも宜からうと思ひますが、私共の責任からしますと、これは失業者ではなく、積極的に我々の業界から、お國に御奉公する積りで再編成をしてこの人達を出すのであるから、これも我々業界の將來のた

めの事業の一つと考へまして、例へば四千人か或は三千人あるか知りませんが、つまり我々商業者の分村事業といふやうな意味で、將來に互つてまで、母體としての凡ゆる後援、聯絡をやりたいものであると、こんな風にも考へて居るのであります。

いろ／＼皆さんのお話もありませうから、長話して濟みませんが、私共としては左様な考へを持つて居るので、兎に角、その他にも重工業方面、或は頭腦勞働方面とか、何れ國としては、緊要な方面へこれらの人数をお向けにできるのでせうが、その方針を早くお示し頂き、それに就ての準備を周到にさせて頂く様に、お願ひしたいと存じます。

薪炭商の現状

崎田 有難うございました。次に東京薪炭同業組合長の稻見さんに、一つお願ひします。

稻見 (東京薪炭同業組合長) 東京市の同業組合は東京市及びその周囲をもつて組織して居りまして、私共の組合は小賣業を主として居ります。薪炭同業組合が本體となつて、商業組合を結成致し、それによつて國策に順應して行きたいといふ氣持で、東京市には三十五、市外に五つの組合が認可されて居りまして、四十の組合が結成してこの聯合會を組織して居ります。

七月二十七日の、東京荷受組合の會議に於きまして、荷受組合以外には全然入荷出来ないといふことになつたことは皆さん御承知のことと思ひます。荷受組合から小賣商業組合に廻はして頂いて、小賣業から各需要家に配給することになつて居ります。

そこで私の組合は政府の政策に順應して、國策に協力するといふ見地から、先づ共販といふことに大體決定致し

ました。組合員もこれに双手を挙げて共鳴しましたので、東京府の方に進言致しましたところ、丁度今月の十一日に東京府の共販に對する指示事項があつたので、只今共販の準備を整へつゝあるのでありますが、今後は配給業者としては、お役に立たして頂かうといふ氣持で進んで居ります。

唯、こゝに申し上げたいと存することは、入荷の數量が政府のお話を聞きますと、感心しない。入荷數量が従来より以上にある場合は、轉失業者といふやうな根本問題は起きないと考へますが、現在の入荷状況を聞くと悲觀的である、若し入荷數が減るといふことになる、業者に及ぼす影響も至大と考へます。現在商業組合の人員は、東京府全體で約八千名で、荷受組合の方が一千二百名、合計九千二百名であります。さういふことになると、業者に及ぼす影響も相當大きいぢやないかと考へます。勿論價格も限定されて居りますので、入荷の數量から考へると、現在業者全體が果して業者として生活安定方面に堪へられるかどうか、いろ／＼検討致しましたが、聯合會の立場から申すと、結局、先づどうしても現在の業者の約三分の一位は轉失業者として政府の御厄介になるぢやないかと考へまして、聯合會の方に轉失業者の斡旋部を設け、いろ／＼轉失業者に對する斡旋について、農林省の更生部の御意見を拜聴したり、又東京府の職業課の御意見を拜聴したり致して居ります。更に今月の十二日の職業課の課長さんとか、拓務省の方の御斡旋で、訓練所の見學をさせて頂いたりしました。

こゝに數字的に轉失業者が何名出るかはつきり申上げられなくて遺憾であります。兎に角、業者の現状を申すと、相當長い間入荷がなかつたために、業者は失業状態にあつたのでありますが、今月の二十日には特別配給があることになつて居るし、これからは配給數量も相當あると考へて居りますので、業者は獻身的に、國家の配給部門に働いて居るといふ氣持でやつて居ります。

そこで、業者全體から申すと、只今も申したやうに約三分の一は轉失業といふ問題が出て来るぢやないかと思ひ

ますが、先づその時期が私共の立場から申すと、來年の三四月頃が、最も轉失業の問題が多く出て来るぢやないかと考へます。兎に角、現在に於いても、他の方面に業を求めたいと申出る方もあるので、いろ／＼その方面に打合せをして、轉業者に對する斡旋をしたいといふ氣持で進んで居ります。何れにしても、只今申上げた状態であるから、私共の業者の中から相當轉失業者が出てをるといふことだけは、はつきり申上げて過言ではないと存じます。今月農林省に於いて、轉失業に對する御心配から、かうした會合を催されたことは、衷心から敬意を表する次第であります。今後私の方の業者の中で、轉失業の申出がありましたら、數字的に調べてお知らせしたいと思ふが、どうかその節には宜しく御指導をお願いしたいと存じます。簡單に現在の業者の狀態を御報告申上げて置きます。

中小商業者の轉業問題

崎田 多少前後して恐縮ですが、次に東京府からお出になつて居る松浦さんから東京府の狀態をお話願ひます。

松浦 (東京府企畫課長) 私は業者でありませんで、全般的に考へて居ります、轉業對策並に狀態をお話申上げて、御参考に供したいと思ひます。

申すまでもなく、轉業問題は全體二の種類に分れると思ひます。一つは七・七禁止令、その他の條件により完全に失業する者と、もう一つは、只今川西さんや稲見さんからお話のあつたやうに、配給統制、配給機構の整備によつて出て来る轉失業問題、更にこれを轉失業する者について考へて見ると、店主と店員と家族従業員と分れる、その正確な數字はまだ分つて居りませんが、最近私が推計致したところによると、全国的に見て、店主が大體二百二十三十萬、家族が百七十萬、店員百四十萬。國勢調査の速報から推算致して、五百五十五萬といふ從業者になつて居ります。

従つて、商業者の轉失業問題といふものは、先程川西さんから御報告があつたやうに、店員の問題は重要性がな

一六

いが、店主と家族従業員を如何にするかといふ問題に焦點が置かれるのであります。さて、店主と家族従業員に焦點が置かれることになると、自發的の轉業はなか／＼困難になる譯で、從來の貯蓄を喰潰すとか、或は最近の事例を聞いて見ると、例へば、最近完全な企業合同を致した業界に於いても、このまゝ放つて置けば、今後三、四年貯蓄を喰潰すまで、積極的に轉業を申出る人はなからうといふ觀察さへある。このまゝ積極的に、國策の向ふ所に動員するにはどうしたらいいかといふことになると、この轉業といふものを敗殘者の行く道といふ觀念から、新體制の戦士であるといふ積極的な精神に入れ替へる必要がある、これは何方も御異存のないことと思ひます。

然らば、その方法はどうかといふと、政府の強制力によつて轉業先をきめて、それに動員するか、或は組合の自治的な對策に俟つかといふ二つの方法があると思ひますが、政府の強制的の手段にのみよることは或は危険があるぢやないかと考へて居ります。しかし一面に於いて組合の自治的な對策に俟つとすれば、先程申上げたやうな關係でなか／＼出て來ない、そこで兩者を折衷したやうな案にしまして、あの勞務動員計畫の方で白紙の動員令が出ますが、それに準じたやうなやり方を、組合の施設と關聯してやつて頂くのが、最も圓滑な轉換策でないかと考へて居ります。

それで、特に農林省にお願ひ致して置きたいのは、業者が國策に添うて、新體制を實行致すには、その希望的條件として、公定價格に於ける公定マーチンが動かないといふことを考へて居る、米に於きましては、御承知のやうに卸小賣とも合同對策を樹て、更に轉業對策を考へて居りますが、聞く所によると、或る企業合同の體制の整つた直ぐ後で、公定マーチンを變更しろといふ要求をなさつて居るやに聞きます。斯様なことを致しますれば、政府は一

面に於いて對策をとり、一面に於いてこれを打壞すやうなことに相成り、ひいては政治に誠がないやうにもなるのでありますから、斯様なことがないやうに——私共は地方廳關係で、自分の權限外でありますので、特に願ひ致して置きます。

更に、轉業した人達がどの方面へ出るかといふことになると、これは轉業者の指導が非常に不完全であります。轉業相談の施設を、もう少し優秀なる人材を集めて擴充して頂きたいと思ひます。農林省は食糧品關係であります。歸農といふ問題についても、どの程度に計畫を進めればいいのかといふことを業者に明示する必要があるかと思ひます。尙、一般論からいつて、何といつても、業者の適性によつて、その素質によつて、行くべき道がきまる譯であるから、これに對する調査を完全にすることが必要であると思ふ。先程川西さんから、京橋の調査の結果を御披露されたが、これは、各業種に關して、組合を通じて調査を致したい計畫であります。

最後に、それなら、配給統制、配給機構の整備によつて、どれ位餘剩勞力が出るかといふ見透しを申上げて見ますと、先づ配給機構整備を要すると我々が考へて居る業種は、米、薪炭——これは既に實行中で、次に登場致すのは、酒類、調味類の關係、菓子、パンの關係、干物雜穀、青果類、魚貝類その次が洋品雜貨、大體かういふ順序と思ひます。さうすると、それらの中で何れだけ轉業者が出るかといふと、大體商業人口の三分の二は轉業すべき人口ではないか、——これを先程の推定人口からいひますと、店員の全部と、家族従業員の全部、更に店主の何割かが

——これは業界によつて違ひがある、或る業界では、店員も新しい配給機構へ收容されるが、或る業種によつては五割以上轉業しなければならぬものもある譯で、平均致して、大體三割乃至、四割、——二百二十萬としますと、少なくとも百萬程度の餘剩勞力が出るかと考へるのであります。唯、この數字の問題は、何處にも的確な材料はないので、總て推測によつて出したのであります。以上のやうな見透しをもつて當局としては對策を研究中であります。

す。

山梨米穀商の再編成と歸農運動

一八

崎田 それでは、最近満洲にお出でになり、向ふの實情を視察してお歸りになつた山梨縣精米會社のお方から、今までの山梨に於ける事情の概況と、向ふにお出でになつた結果についてお話を願ふことに致します。

中山 (山梨縣精米株式會社社長) 満洲へ参りましたのは、會社の營業部長をして居る穴山さんで、その方は穴山さんから申上げることにして、山梨の企業合を致した結果を簡單に申上げたいと思ひます。

初めに申上げて置きたいのは、東京その他の大都市と事情が違ふ點は、他では精米業者が總て販賣業者といふ機構で、結局卸賣業者と小賣業者との二つに營業が別れて居ると聞いて居るが、卸賣業者、精米業、小賣業者と三段に別れて、精米工業といふものが、一つの工業として完全にそこに存在して居るのは、恐らく朝鮮と甲府方面だけではないかと考へて居ります。

かういつた意味から、縣當局に於いても、私共業者に於いても、矢張り卸賣業者、精米業者、小賣業者との三つに區分を致しまして、企業合の合同をはつきりやり、卸については、卸商業組合として統一し、販賣業の方は、商業組合を單位として、任意商業組合を作りまして、それによつて共同配給所を郡市共に拵へ、甲府には二十六箇所配給所を拵へ、八十三名の従業員で、一日五、六百俵の配給を致して居ります。精米に任じて居りますのは、従來約六十名ありました。それを全部株式會社に組織致して、一つの會社によつて配給に任ずるのであります。これは甲府の例であるが、各郡に於いても、縣下に十六ヶ所の配給所を拵へまして、各郡市毎に株式會社を作るべく、目下着々進行中であります。これが仕上つた時に、始めて目的通り完全に山梨縣精米株式會社が登場する譯になると

考へて居ります。

企業合を致した趣旨は、これは他縣と殆んど變りはないと考へますが、事情を皆一つにして居り、矢張り食糧政策に協力するためには、合同によつて合理化して行かなければならぬぢやないかといふ決意から始められたのであります。現在營業狀態がどうなつて居るか申すと、會社で今調査して居ります所では、――まだ報告が全部參つてないので、統計的にはつきり數字を申上げることは出来ないが、矢張り、東米商聯で申されたやうに、案外失業者は少いではないかと考へられます。それは矢張り、東米商聯で仰言つたやうに、決して喜ぶべき現象でなしに、米を配給所に取られました結果、副業をして居つたのを、今度はその副業を中心にして、尙、新しい仕事を見付けて、従来やつて居らなかつた仕事まで探して、他の人の領分にまで荒して行くことによつて失業を避けて居る状態であります。さうしてお互にだん／＼縮少されたものを總ての人が喰荒して居る結果は、恐らく近い將來に大きな問題になつて来るではないかと考へられます。私共會社と致しても、一般の米穀業者としましては、農林省の御指導によつて、満洲を視察した結果、開拓移民を出すのが、現在の所ではいゝではないかといふことに歸着したのであります。

これまでの経過としましては、今申上げたやうな譯であります。私共が當局にお願ひしたのは、實は私、商業報國聯盟の青年部長をやらせられて居りますが、現在商人の行くべき道が何處にあるであらうか、又商人に現在の時局認識を與へることは、それ程難かしいことではないかと考へますが、その時局を認識致した結果、企業合の等によつて配給商人を統一して、簡易化を計ることは難かしいではないかと考へます。現在問題になつて居るところの何百萬といふ業者を簡易化された結果、その犠牲者を如何に指導して行くかといふことを考へますと、より以上に難かしい問題ではないかと思はれます。或は内地に於ける十數萬町歩の休閒地を開拓するのは、誰でも出来る

問題ではない、極く一部分の人でなければやれないことでもあります。軍需工業方面に於いても、現在では恐らく飽和点を突きつゝあるではないかと想像される時に、一つ満洲開拓移民だけが、相當大きなことになつて現はれて来るぢやないかと考へますが、又、これとても、私共の考へる所によりますと、數百萬の犠牲者を果してこゝに充分に入れ得るかどうか、又今日こそ、かうやつて懇談といふやさしい意味の會合をなさつて居りますけれども、現在の事情が急迫するにつれまして、半年、或は一ヶ月の後に既に懇談を許さない状態に立至るかも知れぬ、その時に、現在のやうな状況であつて、満洲の開拓移民として果して充分に切換へ得るかどうか、といふことに疑問を持たせられるのであります。私共が青年層を引連れて行く指導方針として、最後に擱んで居らなければならぬものが満洲開拓移民であり、最後に打つべき手であるかどうか、他に確固たる手を持つて居られるかどうか、かういふ點について御方針を承りたいと考へて居ります。

以上をもつて、私の経過報告を終りまして、穴山さんから満洲についてのお話を御報告申し上げたいと思ひます。穴山（山梨縣精米株式會社營業部長）折角のお話でありますから私から満洲を見て來た結果、米屋が開拓團として、或はその他に於いて如何にすべきか、それに對してどう考へるか、どういふ手段を要求し、どういふ風に指導して貰つたら我々の考へに到達する近道であるかといふことを申し上げます。

私が申上げるとは、満洲の視察と申しますが、満洲を商人として如何に見、考へるか、といふことであります。満洲について縷々申す必要はありません、唯、端的に結論を申上げると、我々の眼で見た所では、素晴らしい所である、開拓團として進出するについても、唯、商人として考へましても、素晴らしい所である。積極的に申しますと、人間が住むには洵に住みよい所で、日本内地より遙かにいゝといふことを大聲で申上げたいと思ふのであります。ともすれば満洲に追やられるといふ考へ方があるやうに聞いて居るが、私の見た範圍に於いては左様な心配は

更にないと申上げたいのであります。物資とか、或は衣食住の問題につきましても、何等の不安はないのであつて、皆さんの臆測が深いのであります。餘儀なく満洲に行かうとする氣持を是非改めて頂きたいと思ふ。元々私共は、職を求めて満洲へ行くといふ考へ方は洵に不遜な申分であると思ふ。要するに満洲は王道樂土の土地である。そこに職を求めて行くといふ消極的なことではなしに、實際國の方針として行くべきだと思ふ。

現在の狀態については私が申上げるまでもなく皆さんはよく御承知のことと思ふが、私が目で見て來た具體的なことを少し申上げると、一體商業を何のためにやつて行くかといふことをお考へになれば直ぐ解決が出來ます。今までは自由主義的な營利主義が目的であつたと思ふが、これを新しい體制に應じて、配給部門に生命を存續して、お國のために御奉公して行くといふ二つの道がある。現在の狀態に於いては、今までの營利的な利己主義を毛頭許さないとすれば、残つた問題は、今の配給所に於いて自己の生活を守つて行かなければならぬといふ考へは、もう既に個人主義的な考へ方で、これを改變して、お國の食糧確保のために、特に一つの機關として残るだけである、この考へ方をもう一步進めて見たらどうか、更に満洲へ参りまして、營業して参りますれば、我々の配給機構を兼任し食糧確保の一步を進むことになると思ふ。

我々の同業者は何人あるか知りませんが、二百萬人の失業者が向ふに行くといふことになる、問題が大きくなつて救済を要することにもなるでせうが、私共の考へ方から申すと、左様な考へ方は致したくない、我々としては、充分なる生活の安定地へ行くのでありますから、これについていゝな救済を要するといふ考へ方はいかぬと思ひます。例へて申すと、私は現在の農村に於いてもさういふ點があると思ふ。農村に入つて居ると分ります、生産増大を計るために、いゝな助成をして参つた結果、どういふことになるかといふと、要するに營利的な農業經營を要望し、農村に對する利己主義を要望するやうになる。現在の失業問題についても、自己の防衛のみ

のでありますから、何等躊躇することは無い、今日はもうさういふ方の経験を持たないでも、現地へさへ入れたいと思ひます。

それで、私は、お前の感じた満洲はどんな風かと聞かれたら、即座にかう申上げる。衣食住は飽きる程ある、何等心配はない、皆さんが御躊躇なさるのは非常に寒いぢやないかといふことですが、これは如何に寒くても、住居も防寒的設備が出来て居るから、何等心配はないとはつきり申上げて置きます。お前の根據は何處にあるかと言はれれば、現在までの開拓團の移動状況を見ますと洵によく分ると思ふ。どの開拓團でもあるが、先遣隊から参つて建設を始めると、後から後續隊として縁故移民がどん／＼入つて居ります。入植した人の従兄弟であるとか近親者が入つて居る。全然關係のない人が單獨で行くといふことは少いと言はれて居る。自分達で考へて見て開拓團がいゝと思ふから、兄弟なり、従兄弟、親などを呼び寄せるといふことになると思ひます。それから開拓團員の結婚問題もいゝ／＼な施設があるので心配はないと思ひます。

然らば、どういふことについて、將來は考ふべきかといふと、私共としましては、實は農林省のお指圖によつて今度は團を編成して参りたいと考へて居ります。このことについて、種々困難もあらうと思ふが、取敢へず我々の考へて居ることは、――まだ相談もしてないが――山梨縣から百名、滿洲開拓民の希望者があるとすれば、その中三分の一は技術者を選びたい、後の三分の二は業者で宜い。さうして農業の講習を受けて、精神教育をさせたいと思ひます。さうして出来るだけの短時日の中にこれを編成したいと考へて居ります。然る後に、拓務省並に移住協會、更生協會の御援助と、農林省の御指示によつてあちらに進出したい決心を持つて居ります。

これに對して、先程もお話が出たやうであるが、私共は向ふに行つてからの施設はとも角として、先づ以つて行くことが、必要條件であると考へて居ります。現在の現地の状況は非常に我々を求めて居るのであります。現在内

地の状況が我々の業とは反比例して居るので移民團の後續がなくて建設に困難を生じて居るといふことであつた。これに對しては我々の時期至れりといふか、寧ろ惠まれた時期であると思ひます。今行くに當つて、これに對する援助が欲しいといふやうなことは、積極的に言ふべきでない。我々から斯様々々にするといふことに對して、皆さんの方では御覽になつて、洵にお氣の毒に堪へないと仰言つたら、御援助して頂くのも結構であるが、特にそれについて、それではあまり可哀想だからといふお考への下に御援助されるといふと、私共の氣持が非常に變つて來ると思ふ。私がかういふことを申すと皆さんの方では生意氣なことを申すと仰言る方もあらうと思ふが、私共の滿洲へ行くといふ氣持は、脇から出ると言はれて出るのではない。決して援助を乞ふべきでなく自主的に行くものであると思ひます。皆さんの御後援は有難いが、我々として左様なものをあてにして行くのではない。皆さんの御親切は結構なことであるが、左様な金に依存して居らない。私共が滿洲へ参れば、開拓總局もあれば、滿洲國としていゝ／＼な施設が出来て居るから、内地で要求する必要はありません。私共はリュクサクを背負つて行きさへしたらいゝと考へます。今皆さんが、何か一つ援助して欲しいといふ御要求も御尤もであります。一應私共の考へとしては、左様な、何といひますか、左様にお願ひして出て行かうとは思ひません。少くとも最初は、こちらからいゝ／＼を要求することは、先づもつて控へるべきだと考へて居ります。

洵に私の申上げることは粗暴で、野人の言でありますから、差障りのあつた點については、この席からお詫びします。簡單であります。私の滿洲を視察して來たあらましの状況と私の考へ方を申上げてこゝで終ることにします。

問題は實行一途にある

崎田 満洲のお話が出ました機会でありましたから、加藤先生から何かお話がありましたら。

加藤 (義勇軍訓練所長) 大變結構なお話でありまして、殊に穴山さんのお話には非常に同感であります。いろ／＼話もあるが、第一に申上げたいのは、理窟は兎に角やるといふことです。この前から言つて居るが、ぐす／＼して居つても仕様がなし。先づ第一に、東米商聯の方に一萬五千人あるといふのだから、三千人か五千人位寄越して貰ひたい、ぐす／＼言はないで出して貰ひたいのです。五千人が多ければ一千人でも宜しい、六百人でも宜しい。さうすればその人々が、今穴山君の言つたことが本當か嘘か、直ぐ實驗が出来る、理窟は兎に角として一千人か、六百人先づ入れておいて、そこから選び出して、移住協會か何かでやつたらどうですか。先づ入れて、さうして皆さんがいろ／＼研究するんです。その時に、僕等の方では、これを大體歸農といふ意味で訓練しますが、やることだけはやつて見たが、どうもあちらへ行きたいといふ者が出来る。それまでやるのが二ヶ月なり一ヶ月かゝるから、出した後で審議會なり、何でも作つてやればいゝのであつて、兎に角直ぐ着手することが必要だと思ひます。

それから、今のお話のやうに、自主的にやられるといふことは本當に結構なことだと思ふが、五百萬も六百萬も居るといふことになれば、政府としてもこれはどうしても眞剣にやらなければならぬと思ひます。といふのは、この間も或る人の話では、米の問題にしても、外米を農林大臣が買つていゝといつてから、實際に政府の手に入り、一般に配るやうになるまでには二十日かゝるさうです、東京邊りで二日、三日を争つて居る時にはそれでは間に合はぬ場合も出来ます。それと同じやうに、先程も非常に差迫つて居るから、懇談も許さない時期が来るかも知れないと言はれたことは、聞き捨てにならない言葉で、私もさう思ふ。懇談の許されて居る間はいろ／＼が懇談を許さない時期になつて騒いでも追付かない。だから、政府はかうするんだ、といふことさへはつきりして居れば、――握飯ぶ腰にぶら下つて居れば、夕飯を食はないでも腹は張つて居るが、何もないと淋しくなる。政府が何もやらな

審議會ばかりやつて居ると、業者はゐても立つてもゐられなくなる。それだから一刻も早くやらなければならぬ。新體制をする時には、かういふ犠牲者が出ることは分つて居るのですから。――これは例へば、この前いきなり二割天引で豫算を減らしたことがある、そのため学校の先生なども二割減るんだといふので大變でありました。それはお役人だからです、今度はお役人の方は寧ろ人を要求する方で、あらしが吹いて居るのは事業者の方です。だから當局の人々は、今まで社會のために眞面目に盡して居つたのに、新體制のために餘儀なく職を去らなければならぬ人が出来たのだから、その身になつて眞剣勝負で考へなければならぬことと思ひます。それがもう既に時期がおそい、もつと早くやらなければならぬことです。それには是非一つ、今日から直ぐきめて貰ひたい。先づ一千人は何處々々へ入れるといふことをきめて、米屋さん、炭屋さん――炭屋さんは一番氣の毒です、――といふやうにきめて入れて、一ヶ月、二ヶ月後に送り出すといふことにやつたらどうかと思ふ。さうなれば腰に握飯がぶら下つて居るやうなものですから、後はジリ／＼やつて行つたらいゝと思ひます。

それから、五百萬人もどうなるんだ、といふことを煩悶されて居たが心配はありません。それは満洲が一ぱいになれば、沿海洲へ行けばいゝのです。腹さへきまれば行く先はいくらもありません。今日はいかにいふ會があると思はないで、汽車の中で轉失業対策についていろ／＼考へて居つたのですが、どうも一戸當り十町歩とかいつてゐないで西村君がいつたやうに、早く一萬町歩か二萬町歩の所に一萬戸位をどん／＼入れてしまへば、かうやれば食へるんだといふ指導が出来る。大體一人三反歩やれば食へられるんだから、先づ第一に種を蒔けば生える所に移してやるさうしてコツ／＼やらせながら考へさせるのです、さうすれば生活に困らないから焦せることはない、その上で商業に行きたい人は行かせ、開拓團に行きたい人は行かせるやうにしたら宜い。十町歩の地面を貰つてもさう直ぐは作れませんから、一戸當り二町歩位にして、先づ、十萬戸位息抜きすればいくらか樂になる。二十萬町歩位の地

面は直ぐそこらにある、さうすればその次は俺だナアといふことになる。

それで、今後はどういふことになるか分りませんが——或はあちらで商業者として必要になるかも知れない。石炭を作つて配給するとか、米を作つて内地の方へ入れようといふ話もあるから、そんな場合には米を扱ふには米屋さんがいふから、さういふ方面にどん／＼移つて行くことも出来る。かういふ譯ですから、今の中に早く二十萬町歩なり、三十萬町歩の地面をきちんときめまして、その中に入つてかういふ人々が一寸でも汗を絞れば、食べるだけ出来て行くのですから、訓練してどん／＼入れて行く、かういふことにしたらどうかと思ふ。これは先程澤山人が出たら前途はどうなるかといふお話であつたから、そんなことは御心配ないといふ一つの案をお話したのです。

もう一つ申上げたいのは、私共もいつも考へるのに、全面的に考へるから分らなくなるが、米屋さん、炭屋さん、がやれば後の者は直ぐ出て行きます。これも最初は店主が難かしければ米屋さんなら米屋さんの店員を送り、それから十五、六の子供があつたら、子供を先にやり、後から親が行く。その子供は半年か一年といふ期間に歛使ひから種蒔を覚える、そこへ後から親のこゝろ行けばいふのです、それで年寄で子供のない人もありますから、それは分類してチャンと数字的に調べて、どういふ人はかういふ風にするといふことにして行かなければ解決が付きません。店員の中でも店主が許せば歸農出来るとか、いろ／＼ありますから、總て出来る方から一步一步解決して行けば案外樂に行くと思ひます。

私は今日、丁度いゝ時に出席させて頂きましたが、これは農林省で早速おやり下さるなり、或は移住協會でやるなりして、兎に角、早く一千人でも二千人でも作つて入れて行つたらいゝと思ふ。丁度七千五百人入れる所が空いて居ります。送つた者が案外普通の義勇軍よりいゝといふことを感ずるかも知れない。先づ直ぐやつて、それをよく見詰めて、始めて具體案が出来るといふことにもなる。山梨縣の方から早速やつて頂きたい。いくら送つてもい

ゝのです。自主的にやられるといふことであつても、國家として後押すべきものと思ふ、人員さへおきまりになれば、どん／＼農林省なり拓務省なりへ行つてお話になれば宜しい、どうせ札といふやうな紙をやりさへすれば、人間は生きて行ける。これは問題はない、かういふために大蔵省があるのですから、どうか一日も早くやつて頂きたいと思ひます。

歸農問題の指導精神

崎田 先程、山梨の中山さんから、今後歸農の問題について、それをどういふ風に諒解して青年指導に當るべきかといふ問題もありましたが、これは部長からこゝで一寸お話し上げます。

周東 (經濟更生部長) 今日はお忙しい所をお集り願ひまして、有難うございました。事柄が非常に眞剣な問題でありますので先程から伺つて居りますが、眞面目な眞剣な御議論で、お話に打たれて居つた次第であります。お話に對する答辭になるかどうか知りませんが、大體農林省に於いて考へて居る事柄等を御参考に申上げることには致したいと思ひます。

今日の状況に於いて、これは米屋さん、その他雑穀の方の業者の方々と言はず、凡ゆる方面に、いろ／＼な原因で轉業を餘儀なくされるといふ状況が起つて居ることは申上げるまでもないのであります。これに對する對策を速に樹てなければならぬといふことを政府の方でも考へて居るやうであります。御承知のやうに、經濟閣僚會議といふものが出来て居りますが、その中の一つの問題は轉失業對策といふことになつて居りまして、大きな一つの問題として國家が考へて行かなければならぬと考へて居る譯であります。勿論こゝで議せられる事柄の内容はまだ確定的にきめられて居る譯ではありませんので、申述べる時期に達して居りませんが、大體の考へ方としましては

凡ゆる方面から轉業を餘儀なくする人々が多數出て居る。これを何とか有用な方面に轉業せしめることが必要である。それには農業の方へ向ける必要な部分もあらうと思ふが、中には重工業なり、輕工業方面に向ける必要な部分もありませうから、一括して、どういふ方面へ何人向けるといふやうなことを調べることも必要であるが、何れの方面へ向けるにしても、今までやつて居られた仕事とは違ふから、一定の訓練が必要になる。更に各々の部分々々によつて或る訓練が必要である、さういふ方面を考へたらどうかといふことになつたやうであります。

何れに致しましても、さういふ全體的の轉業對策の一つとして、重要な方面をなす問題は歸農であると思ふ。さきに、私共の方は、現在の状況を心配致しまして、いろ／＼上局と相談致して、さ／＼やかながら歸農對策室といふものを設け、米屋さんや雜穀屋さん方面の御相談を受ける係りを拵へまして、いろ／＼御相談して居る譯であります。が、相談を受けて居れば居る程益々——加藤さんのお話ではありませんが、早く事をしなければならぬと考へさせられるのであります。

私共の方としては、いろ／＼な方面への轉業問題の中で、重要なモメントとしての歸農に對して、如何なる方法をとつたらいかといふことを考へて居ります。中心の考へ方がいろ／＼きまれば、それに即應して、それに対する對策を考へたいと思ふのであります。唯、この場合に一寸申上げておきたいのは、歸農といふことの考へ方でもあります。先程、何方かのお話の中に現在の勞力不足の内地の農村へ歸れといふことなら、自然に放つておいても歸る、とお話があつたが、私共の考へて居る歸農といふことは、さういふことではなくて、これは、現在商工業方面で轉業を餘儀なくされた方々を生産化——生産を自らやる——するといふ考へ方であつて、單に農村へ歸つてお手傳するといふだけのことを歸農とは考へて居りません。勿論、今日のこの時期に於いての勞力不足の問題から言つて、都會に集まつて來た商工業者の方を農村へ歸すといふことについては、それだけに意味がないではないが、

それは事情が變れば又農村から出なければならぬといふ問題が起る。さなきだに、農村の分村問題も、農業の經營上考へなければならぬといふ現在の状態にあつて、都會の惡すれた人達に唯手傳に歸つて貰ふといふことでなく、本當に經營主體としての農をやる人を作るといふことでなければならぬ、その意味に於いての歸農といふことを考へたのでありますから、誤解のないやうに願ひします。

今日、商工業の方面で轉業を餘儀なくされた人を何處へもつて行くかといふ場合に、抱擁力の一番大きい所は、何といつても歸農だと思ふ。殊に先程お話があつたが、今日日本の事情としては、何と申しても、必要な食糧農産物の増産を確保しなければならぬといふことに置かれて居るのであります。これは内外地を通じて共に考へなければならぬことであり、日滿を通じて考へなければならぬ問題である。その意味から申しましたも、更に又滿洲といふ、日本の第一線といふか、大きな外廓をなして居る滿洲に於いて、大和民族の發展的基地を確保して、さうして、そこにいざといふ場合に第一線の守りとなる人間を移し植ゑるといふ問題からみましても、こゝにどうしても農といふものになつた人間をそこに移し植ゑることが必要でありまして、その意味から生産階級でない者を唯滿洲へ送つても、その食糧を一々内地から送るといふやうなことではとてもいけない。矢張り向ふに於いて自給自足で、又、必要な場合に於いては貯藏し、又必要な程度に増産を確保するといふやうな意味に於いても、今日に於いては農民を澤山向ふに送る必要がある。

それに對しまして先程何方からお話があつたが、單に職を失つた者が追はれて行くといふ觀念ではいけない。夜、抜けて行くといふ氣持ではない。私共は決してさういふことは考へてゐない。日本の現下に於ける必要なる食糧を、内外地に於いて生産確保するといふ考へから出發して滿洲へ行くのでなければいけない。かういふ考へで進んで行かれることを私は非常に望むのであります。

今日の一つの対策として、農に歸すといふ事柄が必要と思ひまして、それに對する対策を考へるのでありますが何方かからお話があつたが、農業をやるにしても、商工業をなさつて居つた人が、今更開墾といふやうな骨の折れる仕事は簡單に行かぬといふお話があつたが、これも私は同感に思ふ。それは滿洲に行けば土地は澤山ある。豊沃な土地が横たはつて居る、これは穴山さんのお話の通りであるが、しかし百姓といふものは簡單に出来るものではない、荒地を耕して、耕地を作り、そこに農業を營んで行くことは、とても骨の折れることと考へる。米の配給をしたり、何かして、口錢を貰つて生活をして来た人からすれば、これから耕作するといふことは相當骨が折れるといふ覺悟が必要である。

それでお米屋さんや雜穀屋さんが轉業して滿洲へ行くといふ場合には、行く前に訓練をして行く必要がある。内原なら内原へ行つて、現實に荒地を開墾して貰ふことと思ふ、恐らくさういふやうな御指導をなさると思ふ。それに負けるやうな人は行つて貰はなくとも思ひます。

農林省でも三四年前から、學校から出た人を新規採用する場合に、法學士であらうが農學士であらうが、私立大學卒業生であらうが、又専門學校の卒業生であつても、八ッ岳の修練農場に送つて、そこで現實に鋤を持たせてやらせて居ります。これは見る人によつては、半月や一ヶ月やつても仕方がないと思ふ人もありますが、私共は信念をもつてその成績のよいことを今日確信して居るものであります。初めの一週間邊りは随分弱はる人があつたやうであるが、二十日、一ヶ月の間の訓練を受けて歸る頃になると、非常に土に對する感じを強めて来る。そこでへたばるやうな人間では駄目である。百姓は安易なものだといふやうな考へでは困る。さういふ人は行つて貰はないで宜い。とても骨が折れる。重たい鋤を持つて荒地を耕して、その上に畑を作り、種を蒔いて、肥料をやつてさうして半年か一ヶ年その生育を待つて居るといふことは樂なことではない。それを忍んで行く者でなければならぬ。

歸農するといふことはやさしいものとは思つてゐない。しかし、それを押除けてやるのは、先程穴山さんのお話のやうに、今日日本人として、食糧生産を確保することが國に對する勤めだといふ精神的感激の進るところから出て來なければ問題にならぬと思ひます。失業したのだから、補助金を澤山貰つて、向ふへ行つたら土地を貰ひ、家を貰つてといふやうにいゝ事柄だけを考へて移民をされるといふのでは、これは問題にならぬ、斯様に考へます。

唯、先程、全米商聯の方のお話に、移民させるには早く滿洲を認識させる必要がある、移民地に於ける状況を視察させなければならぬといふことであつたが、私も長野縣等の分村地へ行つて見聞きしたのであるが、矢張り農村でも滿洲へ行くといふことになるとなか／＼動かない。農村更生協會とか移住協會の人々がそれを認識させるのに並大抵の苦勞でなかつた。しかしながら、現地を認識せしめて來ると皆んな行く。かういふ狀況である。

配給者から生産者へ再編成

私はよく言ふのであるが、啄木の

働けど、働けどわがくらし

樂にならざり じつと手を見る

といふ歌は、私は現下の日本の農村の小さな小百姓のことであると思ふ。働かうにも働くだけの土地が與へられてゐない。土地さへ充分にあれば——さうして懶者でなくて、眞面目に働かうといふ氣さへあれば百姓程いゝ者はない。今日の狀勢によつて、今までのコンミッションによる生活を去つて、生産階級に入つて、自分から土を耕して生活することは樂しみがある。それ程地に着いた生活はないと思ひます。

今日商工業の人は農村はいゝと言はれますが、過去に於ける農村は随分苦しんで來たのであつて、今日、農村が

生産的でないといふのは當り前の話であります。今までの内地のミゼラブルな農村で農民として苦しみ、又満洲へ行つて同じ苦しみをするのは敵はぬといふ氣持がある。満洲へ行けば現實に十町歩、十五町歩くれると言つても、内地で三畝位貰つて食ふや食はずの生活をして居る者には、十町歩もくれるといふのは嘘だと思ふ。それで視察をさせて現實にそれを見せる——これは女が一番いゝさうです。嘘でないといふ事實を見せ、實際の收穫を見せ、そのでの現實の生活状態を見て、これは内地よりいゝといふことが分る。そして單に追立てられて出るぢやなくて、國のために行くといふ精神を植ゑ付けさせるといふのであります。現に長野の下伊那の泰阜村などは今年の正月には村民は反対であつたのを、更生協會の熱意ある説き方によつて、三月頃には全部行くことになつた。かういふやうにして行つた泰阜村の七十位になるお婆さんが新京に着いた時に、或る人から何處から来たかと聞かれたら、日本から来たと言はないで、栃城といふ自分の村の字の名前をいつて「栃城から来た」と言つた。何處へ行くかと聞いたら「満洲へ行く」と言つたといふことですが、かういふ無智な老人まで満洲を認識すれば出て行くのでありますから、満洲に對する認識を與へることは必要であるが、穴山さんが見て來られて、問題はないと保證されて居るし、加藤先生は澤山土地が空いて居るやうに言つて居られます。これにどうしても精神的に沸きたゝすやうにすることが必要であります。

農林大臣はよくお話になるが「君達は今まで配給をやつて來たのだが、今度は米を作る立場になつて見てはどうか」と言はれますが、あれは至言だと思ひます。總ての國民の生産化運動が起つて居る今日、幾分でも生産に携はつて國に盡すといふ氣持にならなければならぬ、かういふ氣持で歸農するといふことでなければならぬ。さうすればそれに對するやさしいとか、難かしいといふことは問題ではないと思ふ。しかし今まで算盤持つてゐた人に直ぐ鎌を持たすれば、三日で倒れてしまふ。どうしても或る程度の農業の訓練をして行かなければならぬ。やさしいも

のだと思つて行つてはえらい間違ひだと思ふ。日本の國のために、増産に寄與するんだ、満洲の方に日本民族を發展させるんだといふ氣持で行つて貰ひたいと思ひます。

農林省としては、既に歸農對策訓練に要する豫算を提出することになつて居りますが、これは小さなもので、この頃のやうにだん／＼多くなつて來ると、もつと大きなものが必要になると思ふが、現在の經濟閣僚會議によつて根本對策がきまれば、それに相應する計畫が出来ようと思ひます。それまでに、加藤さんのお話にあつたやうに、試験的に千人でも五百人でもやつと見たら宜からうと思ふ。それに對する金位は何とかしなければならぬと思ふ。どうか、マア私共の考へとしては、さういふやうに思つて居りますから、總て皆さんの眞摯なる御相談を受けて眞面目に、本當に日本の國のために考へて行きたいと思ひます。

加藤 一寸申上げて置きますが、内地でどん／＼山を伐つて水害の原動力になつては困りますから、出来れば、満洲に樹がいばいある所がありますから、炭屋さんはさういふ方面に一つの訓練して行かれたらどうですか。放つておくと樹が枯れてしまふ、さういふ所があるから、炭屋さんにはさういふ道をつけてやることにしたらどうかと思ふ。炭屋さんは炭を弄ることが好きらしいから、さういふ方面に向けなければならぬと思ひます。材木が只でもつて一ばいあるから、炭を弄くる人の中で出て行つて、そこで炭を焼けば、炭屋さんの問題は解決がつくと思ひます。

満洲へ民族大移動

周東 満洲の方の農業移民についての計畫について、満洲から杉野忠夫君が來て居られますから、計畫の内容をお聴きになつてはどうかと思ふ。相當計畫があつてそれに對應して農村から分村せしめて持つて行くのであるが、豫定の計畫通りに進捗してゐない状態であります。従つて貴方方の御心配の點は、杉野君の大きな計畫からといふと決

して心配はないのであります。その大きな計畫については私共も相談をして居りますが、お話のやうな範圍の數なら、滿洲側から、日本の農村が出さんといつて鞭撻を受けて居る位で、大いに餘地を残して居ります。農村關係が難かしいとすれば、商工業の側からの方をそちらに送出するといふことには、滿洲國の希望の點とも合致すると思ひます。杉野君、何かお話はありますか？

杉野 (滿洲國開拓總局參事) 只今局長から滿洲の方に大きな計畫があるといふお話でありましたが、御承知の通り昭和十二年度を第一年度として、向ふ二十ヶ年に内地から百萬戸の農家を送る、五百萬人の大和民族の大移住を實現しようといふことになり、滿洲國としては、それを中心とし、土臺として、滿洲國を作るといふのが、日滿兩國の共同國是であります。その大計畫は昭和十二年度から實施の第一年度に入つたが、それ以前の開拓政策は、御承知の通り、試験移民と稱されて、出来るか出来ないかといふので中腰であつたが、愈々出来るといふことが實證されて、國策ときまつたのであります。そのため、先程穴山さんが仰言つたやうに、滿洲國のいろ／＼な機關があつて、サア来いと待つて居るから、どし／＼リユツクサク一つで飛込んで行けばいゝといふお話が出た位であります。

それで、只今の狀態を申し上げますと、第一次五ヶ年計畫で明年度までに十萬戸送る筈のが、支那事變が起きたため、豫定計畫が縮小されて、十萬戸計畫の中で二萬戸入植を完了したのであります。青少年義勇軍をもつてその補強をして居る譯であつて、それを加へますれば、約六萬戸に達して居ります。さういふ譯で、約二千二百萬町歩に對する既耕地、可耕地、可耕未利用地を國有地にして、日本民族の入植地として確保されて居るのであるが、なか／＼餘地が廣いのであります。既設の開拓團の第七次、第八次等に於いては、どの團も五十戸、百戸といふやうに尙餘裕を持つて居るのであります。即座に直ぐ本隊として入植し得る土地も數千戸以上あります。尙、この百萬戸入植計畫の他に、十三年度から青少年を年々三萬人づゝ入れることになつて居つて、本來ならば、第三年度の今年

に於いては九萬人渡滿して居るべきであるが、これ又、勞務動員計畫その他によつて、多少の修正を見まして、實際には現在四萬人程行つて居るのであります。この方も幾らでも來て貰ひたいといふ狀態であります。それで先程加藤先生のお話にあつたやうに、先づ青少年から出して行くといふ道も開けて居る。今日の時勢からか、比較的都市の商工業者の子弟が青少年義勇軍に共鳴して多く出て居ります。滿洲へ行く先鞭として、先づ自分の子供を渡滿せしめるといふことは結構なやり方と考へて居ります。

第三のやり方は、昨年度から實施して居る勤勞奉仕隊の運動であります。これは向ふに定着するのではなくて、春行つて、秋歸るさうして農繁期の手傳をして歸つて來るといふやり方でありまして、これは實はかういふ風に行つて歸るといふのが本當の狙ひではなくて、その中から、一割でも二割でも出来るだけ残つて貰つて、開拓團の斥候兵の形でこれを結びつけることを希望して居り、これを逐年増大して、初年度は一萬、明年度は五萬人計畫されて居る譯であります。これも初めの計畫では十萬も二十萬もといふのでありましたが、いろ／＼な關係で先づ二年度は五萬人といふことに目下なつて居ります。

かういふやうな三段構へで滿洲の礎底を固める政策を樹てゝ居りますが、内地の商工業の再編成によつて出来るだけ多くの人々が生産階級化する機運になつて來たことは、私共向ふに居つて世話して居る者として、何とも言へない力強さを覺えて居る次第であつて、斯くの如き再編成の來る日を衷心より希望して居つた一人で、私は愉快に堪へない。それだけに、お出下さる人々が、一人も落伍しないで所期の目的を達して頂きたいと思ふので、現地の方でも充分用意をしますけれども、先程周東局長の言はれたやうに、確固不拔の信念を貫くだけの心身の鍛錬が必要でありまして、私は滿洲の農業は内地農業よりは樂だと信じて居りますけれども、しかし内地の農業よりは開墾勞働といふものを完遂する心身を持つて來られたならば、この上もない結構なことと思ふのであります。ぬく／＼

として遊んで暮せると思はれたら大間違ひであります。

滿洲農業は決して恐るべきものではありませんが、先程も何方からお話があつたやうに、研究心が本當に大事であります。日本人の立派な村を作るには、これを買く精神が大切である。又滿洲國としては、日本の農民を基底として立派な國を作らうといふ建前からいつても、商工業者の渡滿に當つて農林省で訓練施設を強化されるといふことは非常に結構なことで、私、衷心から喜んで居ります。出来るだけ早くやつて頂きたい。「今日から始めて貰ひたい」といふ加藤先生の言に私も大賛成であります。

只今申上げたやうに、二千三百萬町歩の土地が用意してあるといふのも机の上の、地圖の上のことで、チャンと柵でもしてそれだけの土地が空いて居る譯ではない。放つて置けばゾロ／＼人間が入つて來ます。恐ろしい程で、今年も四十萬人も北支から入つて來て鉄先一挺で占領してしまふ。入つてしまへば出て行けといふ譯に行きません。幾ら滿洲國で日本農民のために空けておいても、日本の農民が本當に鉄先で耕して行かなければ、日本農民の土地だといふことは實現しないと思ひます。

周東 西村さん、向ふから持つてお出になつた稻を後でお見せになつたらいいでせう。

轉業の統制を要望

崎田 兵庫縣の商工更生委員の北さんがお出になつて居ります。一寸お話を伺ふことにします。

北 (兵庫縣商工更生委員) この機會に私共の苦い經驗を御参考に申上げて更に御指導を得たいと思ひます。商業組合關係の仕事は昭和六年から今日まで續けて居りますが、政府の指導する商業組合を、幾つ作つて、幾つ倒れて、幾つ生きて居るかといふと、約五割は假死状態にある。政府の掛聲通りに作つても後押しがなかつたから、斯様にな

つたのであります。今度食糧品は農林省に移管されることになつて、嘗つての農林省の力強い行き方を、商工省の行き方と思ひ較べて、私は期待して居るのであります。

私は米については、過去に神戸で此方面に關係し又、炭の商業組合の顧問を二年やりまして、神戸市に於いて、炭の配給制度が採られた時には、直ぐ警察を單位にして、炭の配給を行つて居ります。さうして共同の配給所を一つの警察署に四つから多い所は十二——人口が二十萬もあるので——位作つて、炭の共同配給を先月の下旬からやつて居ります。洵に順調であつて、失業した人はなく、一人も苦しまずにやつて居ります。

更に淡路洲本の全市に米の配給所を作つて、十一ヶ所で米の共同配給をやり、木炭も一ヶ所共同配給所を設けてやつて居ります。

この際當局にお願ひしたのは、これの指導に當つて、商業報國とか、いろ／＼な言葉を聞かされて居り、何方からも四百萬人近い人間を整理する必要があるといふお話があつたが、私も夜に日をついで講演をし、説明をして歩いて居りますが、私共の講演だけではいけない、是非この際政府の強力なる御支援を願ひたいと思ふのであります。先刻、何方かも仰せられたが、別段に失業者を見てゐないといふことは、他の商賣の中へ喰込んで行つて居るからで、これは確かにさうであります。このまゝにして置けば、近い將來に於いて國內に於いて大相剋が起る恐れがあると思ひますので、この際は當局にお願ひしたいのは、商業再編成をなされるために、今日以後は新しく營業をすることを許さないといふこととして頂きたいと思ひます。如何に整理をしても、一方から新しく商業者が流れ込んで來れば駄目であります。既に神戸市内に於いても、米の共同配給所を拵へてやらうとしても、又報國商業組合を作つてやらうと思つても、他の商人がこの中に入り込んで來て非常な困難を感じて居ります。それで、商業再編成にかゝつて居る地方に對しては、他の商人が入ることを許さぬといふこととして貰ひたい。今日の會に、私が

兵庫縣から出て来たのも、これを申し上げたいといふのが、私の一つの念願であります。

その次に、最近行はれました、小麦粉の配給統制令により、小麦粉が配給せられるやうになつたが、代用食といふ言葉がよく行はれて、パン、或は生饅頭、干饅頭に對して小麦が優先的配給されることになつたので、菓子屋がパン屋になり、煎餅屋がパン屋になる、そこらの素人の人が直ちに饅頭の製造を始めるといふことになる。さうなると、業者を縮めて行くといふ見透しがつかなくなるのであります。少くとも一應の人数を或る時期にきめましてそれ以後は新しい人が商業を始めてはならぬといふことになれば、早く整理が出来るではないか、私共が一身を國に捧げて働くのは、自分達の勤めだと思つて居りますが、商業の再編成のために單なる整理をするだけではいかぬと思ひます。どうぞ、この點、當局の方には相済まぬであります。國策に沿ふて働いて居る者の身の上を考へて下さつて、國內に相剋を生ずるやうな轉業は斷じて許さぬといふことにお願ひしたいと思ひます。

滿洲認識運動を展開せよ

池上 (全米商聯) 加藤さんや穴山さんから現地のお話があつて、何故滿洲へ行かないか東京だけでも一萬五千の者が直ぐ出られるではないかといふことでありますが、——又先程局長さんからもお話があつたが、まだ所謂業者に滿洲に對する認識が徹底してゐないのであります。滿洲はいゝ所だといふ杉野さんのお話もあつたが、實際に業者としては滿洲へ行つてどうなるかといふ不安がある。滿洲へ行つて農業をやるのが生やさしいことではないといふことは覺悟して居りますが、先づ滿洲に對する認識をよくして、氣持よく日本の戦士として行くといふ覺悟を植ゑ付けることが必要でありまして、東京の一萬五千の人が直ぐ行くことはなか／＼出来ません。米屋の企業合同といふことは頭にしみ込んで居るが、なか／＼日本を去らうといふ所までは行つて居りません。これを本當に精神

的に引込んで行くには、滿洲に實際に行かれた米屋さんのお話を聞くとか、官廳の方でもいろ／＼お話をして頂いて、滿洲に對する認識を深めるやうにして頂きたい、この點を特に願ひします。

周東 お話の通りだと思ひますので、私共の方でもパンフレットを配付するとか、その他いろ／＼力を盡して居る譯であります。さういふやうな關係にあるので、貴方の方で希望があれば——人をお集めになつて置けば、出来るだけ暇を見てお話に行きませう。又、加藤先生も大変忙しいお身體であります。お願ひしてお話に行つて頂いてもいゝと思ひます。それから政府の方で澤山補助をして「大日向村」といふ活動寫眞も出来まして、これには大日向の母村も分村も一つと一貫して撮れて居ります。さういふものもありますから、聯絡して頂けば、いろ／＼便宜があります。唯、こちらの方はかり頼らないで、もつと君の方からも積極的に隊を組んで、視察者を出して見なければ、——山梨などでは、こちらからも話しましたが、向ふから進んで行つて見やうといふ氣持で出掛けられたのであるが、もつと内の中から燃え出てやつて見やうといふ氣持を起して貰ひたい。このまゝ放つて置けばどうにもならぬといふことが現實に見えて居るのだから、最近はいふことを認識しなければいかぬといつてももうそれは理窟ではない、現實に困る人が出て来るのですから……。お話のやうに、認識させるといふことに對しては深く感じて居り、出来るだけその方面に努力して居ります。

指導に非ず自主的運動を

穴山 私は先程からお話を聞いてゐてかういふことを感じました。それについて加藤先生の御意見も伺ひたいと思ふのですが……。兎に角、私は自分の費用でも行つて見たいといふ考へ方で行つたのであるが、現在こゝで見えて来た通りの状況を百萬遍申述べるよりも、百聞は一見にしかずでありますから、東米商聯の方も隊を組んで、又各

道府縣か報國商業組合の方々が出て、現地訓練をおやりになつたらどうかと思ひます。先程お話があつたやうに訓練を必要とするならば、現地訓練にすれば、そのまゝ居坐つてもいいではないかと思ふ。何れにしても早く、積極的におやりにならなければ駄目だと思ふ。もつと自主的にどん／＼やつたらどうですか………。他の商人と違つて米屋は負けず嫌ひの精神が強いと思ふ。肉體的にもさういふ修練が出来て居つて、人生觀がさうなつて居ると思ひます。それで現地の視察なども全米商聯の方で費用を出してやられたらどうです。又商業組合なども、組合の最後の御奉公だと思つて、これでもつて解散しても宜しいといふ氣でやられたらいいと思ひます。産業組合も商業組合もなくて、一つの機關として總てが國家のために御奉公しなければならぬ、取敢へず頭の方から解散して行かう細胞組織の單位組合に解散して行かうといふ考へ方から、私共の縣下では、既に所によつては産業組合と商業組合が一つのものになつてやつて行かうといふ考へをもつてやつて居る所もあります。上の方からどし／＼やつて頂かなければならぬと思ひます。

瓜生田 各縣で視察團を作つて、五人でも十人でも送るといふことにしたらいいですナア。

川西 先程穴山さんなどからお話があつたが、東米商聯では何も政府の方で何とかしてくれさうなものだと待つてゐる譯ぢやありません。認識運動をやつて見ることも、向ふへ行つて見ることも必要だといふことは分つて居りますが、唯、東京府で足留を食つて、今日まで来て居るのでありますから——それが昨今非常に急ピツチで検討を始められたから、早く済むだらうと思ひます。こゝで米穀局長さんのお出の間に申上げますが、東米商聯で具體案をもつて實施する計畫であつたのが、昨今、卸と合體してやるべしといふことになりました、案の建直しを始めて居ります。これは非常に結構なことと思ひますが、この企業合同の方法の變更からして、これがために實施が後れるといふことになつては、非常に困つても、業界としても本意ないと思ひます。これが幸に急速に纏まればいいが、

これがために又非常ににぶるといふことになるかと非常に遺憾と思ひます。東京府の方では熱心な態度でもつてやつて居られるが、本省の方でもこの合體促進のために、確固とした御方針と、或る意味での御協力を願つて、このために後れないやうに御考慮願ひたいと思ひます。さうして私共は假令冬のさ中であらうが、何であらうが、東京府の指示の決定次第行きたいと思つて居るのであります。補助や援助を取へて考へて居りません、非常に張切つて居るのでありますから……。

企業合同の齎すもの

周東 米屋さんの企業合同が完成して、そこで歸農させる人数が出て行くといふことも一つの考へ方かも知れませんが、私共の考へとしては、現在米屋さんが轉業を餘儀なくされて居るといふ事實にあるのですから、さういふことが決定した後には於てやるとしても、指導者として現地を見て置くことが必要だと考へる。企業合同と關係はあるけれども、僕等の方としては、必ずしも、分村移民の現地視察團と關係を持つて考へることに疑問を持つ。しかしこれはきまらぬ問題を前提にして考へることは間違ひが出来るから、是非やれといつて居る譯でないが、見聞きすることは一番認識を深めることだと思ひます。

川西 そんなことで、手を放すことが出来ないのです。

加藤 それは東京府の方で監督権といふやうなものがあつて、東米商聯としてはそれを抜きにしてやる事が出来ないといふことです。だからして、本省の方から、至急や、やうに促進をさせることが必要なことですか。一體川西さんはその點、穩健な態度をとつて居る譯でありますから、これは一つ本省の方から、よく東京府の方へ話をして、一歩々々進めて行くといふやうに、促進をして頂いたらいいかと思ひます。研究してから後といふのは、その

立場に居る人からいふと、研究して居る間に参つてしまひますから、是非一つ早く實行するやうに願ひしたいのです。

増田（商業組合中央會）加藤先生のお話も御尤もですが、私共の心配するのは、一つの企業合同の結果を研究することなしに、どん／＼人を出した場合に、後の配給機能の問題に圓滑を缺くやうなことがあつてはと思ふのであります……。

加藤 私の言ふのは、何も一萬人の人をいきなり澤山一度に抜けといふものではありません。

川西 再編成することよつてのみ抜くことが出来ます。

加藤 何處の商賣でも、その家に使はれて居る配給員の前途は暗いものです。特にこの頃米屋さん、炭屋さん、菓子屋さんなどの店員はウロ／＼して居る。さういふ人に、もう二年経つたら向ふにやつてやるといふことにすれば氣持が落付きます。さうでないといふのが暗い。だからさういふ店員を二年後、三年後には出して行くといふことにすれば萬年店員もなくなり、親父が働かない者でも働くやうになります。さうしてジリ／＼出して行けばいゝので、私の言ふのは一遍に澤山出せといふ意味ではない。しかし再編成しなければ何も手がつかないといふのは何も出来ません。それは再編成してから行くのもいゝが、再編成しなくても混亂を起さないやうにして行けばその人も喜び、國家も喜びます。さういふ意味で一日も早くやらなければいけないといふのです。

瓜生田 企業合同になつてからではおそいと思ひます。

留意すべき事項二三

野田（農林省事務官） 今のお話を伺つてゐて、私共分村計畫をやつて来て、御参考になる點があるかと思ふので、

一寸氣のついたことを申し上げます。分村計畫によつて出る場合には、出る者は自分の財産處分にしても、負債整理にしても、家族保護のことにしても、一切を村の方に任かして、村の方で總てのことを引受けてやつてくれるといふことになつて居ります。今の問題に關聯して丁度、商業組合といふやうなものが、兎に角行きさへすれば引受けるといふやうなことで、おやりになれば、配給上の困難は起きないではないかと思ひます。即ち、私が行きたいといふ申出があつたら、その人の配給數量、配給先といふやうなものを充分調査され、それをそのまま引取る、さうしてその人の營業の権利義務、或は賣上代金とか負債のやうなものも組合で調査され引受けて、行きたい人はどん／＼出して行くといふやうにされてはどうかと思ひます。

それから、農業をやる場合に、一番大切なのは、作付に成功すること、これには又その時期が大切であります。それで滿洲へ行かれる場合も時期を考慮されて三月中旬には入つて行かれるやうにしないと、一年間の農業に響いて來ると思ふので、この計畫をお進めになるについてもこの作付の時期に充分間に合ふやうに、特に御考慮願つたらいいと思ひます。それから又視察に行かれる時期もあまり冬になつてからですと、收穫も終つてしまつて、北滿などは特に農業に經驗のない人は、こゝに農業が出来るかと思はれるやうに寒々として居りますから、視察に出られるなら一刻も早い方がいいと思ひます。

加藤 先程穴山君から、直ぐに現地訓練に向けたらどうかといふお話があつたが、穴山君のやうな人が悉く率ゐてやつて行かれるなら大丈夫ですが、さうでないといふ人によつては逆宣傳になるやうな人もあるから、先ずこちらで少し様子を見てから送り出した方がいいと思ひます。

轉業者の滿洲歸農事例

崎田 お話の途中であります。東京市の方から、各種の職業を持つてゐた人達を率ゐて満洲へ行つて開拓團をやつて居られる團長の寺島さんが丁度お見えになりましたから、農業以外の人が、満洲の開拓團に行つて、どの程度に農業に堪へ得るかといふ実績について簡単に話願ふことにします。

寺島 (協和開拓團々長) 私は昨年十一月、先遣隊として東京出身の人を十五名連れて牡丹江省に入つて、移民村を建設しつゝある者であります。で、團員は總て東京市に生活して居つた者ばかりで、平均年齢は大體二十五歳位で三十歳を越える者は僅かであります。職業はいろいろあつて、職工をやつてゐる者、洋服屋、洋品屋、漆器店へ勤めて居つた者、或は謡曲の先生をやつて居つたといふ變つた者もあります。原籍は大體地方にある者ですが、中には三名純然たる東京者もあります。

今年の農耕時期に揃つてゐる者が二十三名の團員であります。これだけで今年どれだけ出来るか、出来るだけやつて見やうと思ひまして、計畫は随分大したものを作りましたが、實際に手をかけたのは六十町歩であります。二十三名と申しましても、警備に四名取られるので、實際には十九名になる。尙滿人は一人も使はないでどれだけ出来るか出来る所までやつて見やう、場合によつては一物も取れなくてもいゝと思つてやりました。大分順調に進んで行つたが、矢張り初一年度でありますから、腹をやられて、一時は大半寝てしまつて、外へ出る者が、私外七名しかなかつたといふ状態であつたが、それでも苦力を雇はないで、起きて居る者だけで死にも、ぐるひになつてやりました。夜など寝なかつたこともある。で實際收穫を見たのは、その反別の中の約半分になりました。

一つは水田で約十五町歩の時付をしました。これは水流があつて自然灌水が出来るが、唯、水が出た時に畔が崩れ浸水した。この點鮮人などうまいものですが、自分達はやり方がまずくて二、三回直したり、又は除草期に先程申したやうに病氣が出たために、水田の方は全部放つてしまひました。小麦の反別は十五町歩、燕麥五町歩、これ

は初一年度でも非常な成績で、今の所まだ調整しないので石数は分りませんが、どんなに少く見積つても百石以上になつて居ると思ひます。それで來年は米を幾らか補充すれば、來年の食糧は間に合ふと思ひます。その他馬鈴薯が麻袋六十俵取れました。これが反別にして二町歩豆もまだ收穫しないから分りませんが、これが幾らかと、蔬菜大根とかが相當あり、白菜、麻なども一町歩位作りました。大體收穫物はこんなものであります。

それで、私の所の團員は全く都會に育つた者ばかりで、兎に角今年が農耕の初一年度としては、この成績から見てもそんなに悪くはないと自分では思つて居ります。この私の方の移民團員は直接直ぐに東京市民を送るのではなくて、訓練が必要であります。東京市に訓練所を設けておいて、約六ヶ月こゝに入れ、農業訓練と精神訓練をして鍛へて向ふに送る譯であります。私がアア考へますのは、矢張り都會に育つた人は直ぐ算盤をはじく傾向がある。例へば今年の小麦の刈取りの時になつて、十五町歩の麥を二十名ばかりの團員で刈りだした、始めは何でもないやうに思つたが、なか／＼三日四日立つても端の方が少し刈れたゞけで刈れない。刈取の時期を失すると、小麦の粒が落ちてしまふ。それで仕方がないので苦力を雇はうといふ話をしたところ、直ぐ算盤を弾いて、苦力は一四圓かゝるから四、五日雇ふと全體で八百圓も九百圓も苦力金がかゝる、一そのこと、自分達で刈れるだけ刈つて後は落して駄目にした方が経済的に引合ふといふやうなことを言ふのであります。そこで私は一喝を喰らはして「君達は金をもつて生きて行かれるか」といつて次の日から苦力を入れて刈取りを終つて澤山積上げて見ますと、これで自分で取つた物で、來年の食物はあるといふ安心が出来て、皆んなも喜んで居りましたが、さういふ點からも、精神訓練が必要だと思ひます。

竹山 どうも有難うございました。

周東 西村さんから荒地に短時日に米が出来たといふお話をして頂きます。

西村 (前御牧原農場長) 私は今年の五月二十七日に、長野と山形縣の勞働奉仕隊を率ゐて東安から百六十キロの所に参りました。交通の不便な所で、それは全部未開墾地で草の生えた所でありました。昨年冬そこへ見に行きましたが三尺か四尺の枯草が雪の下にあるのを見て米を作る自信を得て参りました。私共が参りますまでに朝鮮人に準備して貰ひ、私共が参りましてから、一部の開墾をし、畔を作り、整地し、六月一日から十三日までに五十町歩の蒔付を致しました。勤勞奉仕隊の前期隊と後期隊と綜合すると、人員は最初百五十三名、後期が百八十七名で、それだけの人数で五十町歩は少いのであるが、土壘の構築もしなければならず、來年度開墾する用意の場所の草刈もしなければならず、いろ／＼な仕事があつて、初年度は割合少く、五十町歩になりました。九月十八日に刈取りを始めて最近終りました。六百石の玄米が取れましたが、現物は先程お手許にお見せした通りであります。

何を申しても、唯バラ蒔くだけで、草を取るといつても、一回種抜きをやつたゞけであります。唯、開墾する費用として滿人に拂つたのが、反當り十圓、鮮人に導水路を作らした費用が反當り十圓、その他雜費を入れて反當り二十五圓かかりました。收穫は反當り一石二斗であります。これ來年度の二箇中隊四百人の食糧は充分取れました。尙來年度の二百五十町歩に對する種蒔の用意が出来たのであります。隊員は、尙自分等が郷里で百姓して居ると、僅かな田地を幾つにも切つてやつて居るのに、こちらでは一つの田が四町歩の區劃もあり、二町歩の區劃もあるるので、實にやり易いといつて居りました。尙それが、六月十三日から九月十八日までの百日間で收穫が出来る、内地では苗代だけでも四十日置かなければならぬが、滿洲といふ所はそんなに手数をかけずに出来る。さうして肥

料も全然やらすに出来たのであります。何しろ千古斧鉞を入れない森林といふことをいふが、あすこは千古斧鉞を入れない草原といつていゝのか、有機質が充分にあつて肥料が要らない、今後何ヶ年肥料が要らないでいゝか分らぬが、恐らく相當長く必要はないと思ふ。さうして唯バラ蒔けば百日後には取れる。米の質もよくて、實は尙ふで鮮人が取りました米を食べて居つたが、内地へ歸れば不味い米を食べなければならぬといつて、團員も尙ふの米を食べるのを楽しみにして居つた位であります。

それでこゝでは五十町歩でありましたが、完達山脈の南の方で、滿洲國の調べによると、あすこの東安を中心として、耕地は五萬九千町歩水田を作つていゝ所が六千三百三十五町歩。完達山脈の北の方には約三十萬町歩あつて三分の一は山、三分の一は耕地、三分の一は濕地で、恐らく十萬町歩位は水田になると思ひます。それから沿海洲にもまだありますが、全體的に申して、約三十萬町歩の濕地は米が出来ると思ひます。

あすこは〇〇部隊の管轄下にあります。私共の水田の様子を見て、こんなに草があつても、こんなに米が取れるなら内地から苦勞して送つて貰ふ必要はない、治安の點は責任をもつて當るから、せい／＼米作りをやつて貰ひたい、といふお話があつて、部隊長が喜んで下さいました。私達も滿洲は簡単に米が出来るといふ話は聞いて居つたが、やつて見て驚きました。勿論簡單といつても指導者は必要であります。先程何方から十五町歩失敗 といふお話があつたが、水の取入れ、種の蒔付等多少技術的指導が要るが、少し研究心を持つてやれば、大したことはないといふ自信を得て歸りました。

私は参りますについては、去年の十二月に東京に五日間の米がなかつたといふやうな事實を見て、これはいけない、五十萬人の全國の奉仕隊によつて五百萬石の米を取らなければならぬと考へたのが始まりでありまして、先づ今年は先程申したやうに一團の奉仕隊の人を連れて参つたのであります。それで、水田作りの經驗者である濱とい

ふ人が一緒にやつてくれました。この人は数年間の米作りの経験者であります。この人の話で、營口へ行つて見て来いといふことで、行つて参りましたが、あそこは遼河の入口で鹽分の多い所ですが、こゝに昭和七、八年頃、まだ治安も悪く、匪賊が出た時分に日本軍隊が保護してやつて朝鮮人が入つて水田を作り始めて、初めは鹽分が多いたあに少ししか出来なかつたのが、二年三年と鹽が抜ける従つて收量が多くなり、今では二萬町歩位水田を作つて立派な農村を作つて居ります。我々が豊葦原の瑞穂國だといつて居つたこの日本の國に、お米が足りないといつて騒いで居る間に、滿洲に於いて朝鮮人が立派な水田を夫婦仲よく作つて居るのを現實に見て、私は何だか癪にさはると同時に、これは我々が早く行かないと他から入つてしまふといふことをつくづく感じました。

竹山 その朝鮮人は皆、五千圓位ためてゐるさうであります。

加藤 只今の西村さんのお話でもお分りでせうが、滿洲といふ所を農業地としてどうかといふ懸念を持つといふことはこれは無智だからです。これからはそこを一つ根本的に掴まへなければならぬと思ふ。植物性の物が生えて居れば、農作物が出来ないといふことはない、草が始終生えたり枯れたりして居れば、草は地面の養分をとつて枯れるから、土の表面の方に植物の生育に必要なものを溜めてしまふ。さうして多は陽が短い夏はウンと長い、水は充分にあつて同化作用が盛んである。植物の生理を知つて居れば農業はいゝといふことは直ぐ分る。この植物の生理の根本さへ分れば、何もノコノコ出かけて行く必要はない、本を讀んだら分ります。さういふ根本的のことが分らない人間が向ふへ行つて人の言ふことを聞いて歸つて来ると、結論が出鱈目になる。植物生理の第一頁を靜かに讀んで、滿洲の日照時間を調べ、實際の作物の枯れたのでも見れば、直ぐ分ります。僕だつて、出来ない所には人は入れません。私は初めてやる時に、東宮大佐から、溫度表それから、作物の收量とか、出来て居る具合などを調べて知らせて來たのを見て、これはいゝ所だ、これなら出来るといふことが、行かなくても頭にピンと來た。それで

今度はよく實際に視察してみても問題にならぬいゝ所だといふことが分つたのです。これは永豊鎮の話ですが大體南滿は多少肥料が要るが、北滿は肥料は暫く要りません。

大體植物生理の分つて居る人なら一寸調べて見れば分ることで、それが分らない小説家などが、やれ食へるとか食へないとか言ふことを言ふのです。兎に角視察する場合などでも、穴山君のやうな人がついて行つて、ガン／＼言へばいゝが、ウツカリ頭のない者が行くと、人の話だけ聞いて來て變なことを言ふことにもなるから、氣をつけなければいかぬと思ひます。

むすびの言葉

周東 今日の時局柄、最も重大な問題について、お集りを願ひまして、各方面の實情、又歸農對策に對する御意見、滿洲の實情に對する御意見といふやうなものを種々お聽かせ願ひまして、私共、今後仕事を致す上に非常に参考にになりましたことを厚く御禮申し上げます。但しこの問題は私共の方が参考になつてよかつたといふことだけでなく、皆さんの方も、いろ／＼な點について充分得られたことも多かつたと思ひます。今回の轉失業の對策問題については、これは官にある者も民にある者も、いろ／＼な方面の者が一心一體になつて、考へて行かなければならぬ問題で、役人の考へだけに引摺られて居つてはいけません。又民間の方で勝手な方面へ動いても、これも完全な目的を達せないと思ひます。要は本當の對策を擲んでそれに對して出来るだけ早く實行にかゝつて行くといふことだければならぬと思ひます。

今日は大臣がออกมาして、親しくお話を伺ひ、又大臣の考へて居ることも皆さんに申上げる筈でありましたが、先程申したやうに、丁度經濟關係會議が開かれて居り、この轉失業の問題が議せられて居るので、そのため出席され

なかつたことを遺憾に存じますが、悪しからず御諒承願ひたいと思ひます。どういふ風な案が政府で考へられるか知りませんが、先程も申したやうに、その中心はどうしても歸農によつて一つの對策を樹てることが一番大きな道だと思ふ。さうして歸農は内地に對する問題もあるが大きな廣い天地として、滿洲へ行くことが生産の確保、増産といふことから申しても民族の發展の上から見ても絶対に必要缺くべからざるものであると考へられることは申上げるまでもないのであります。

而して、移民の状況、土地の状況については——加藤先生を前に置いて申上げるのは失禮であるが——營利觀念私利私慾のない、唯一途に日本のため、農村のために憂へて居られる加藤さんの言を私は信じて疑はないのであります。加藤先生の農民道場訓練上の體驗、農業の經驗、精神的訓練の指導者としてのお立場は、これらの私利私慾を離れて、唯、日本のために、滿洲移民を率先指導されて居るのであつて、それは滿洲の土地へ日本農民を植ゑ付けて行くことが必要であり、又そこへ入れて農民として充分に經營が成り立つと考へての指導であります。我々はこの立派な實際家であり、指導者の言を信じていふと思ふのであります。

その意味に於いて、今後の對策は、どうしても、この失業して行く人間を、どういふ方法をもつて向ふへ持つて行くかといふことが問題になるのであつて、今日、滿洲移民がいふ悪いといふことは論議する時期ではない、どういふ組織、方法で行くかといふことであります。今日のお話合によつて今後機構的に充分御相談をし、出来るだけ早く、一步でも前進したい、斯様に考へて居ります。

昨年米の問題で、この東京が凌ぐのが心配になつたことがあつた、後四、五日がどうかといふ話を聞かされて、當時私は當局に居つて非常に苦勞致して居つたが、これを加藤先生がお聞きになつて、それは大變だ、そんなことを今まで何故黙つて居つた、農村、農民といふ者は常に國家を憂へて居る、事情を知らないから出さないのだ、と

いつて茨城縣に直ぐ歸られて、誰が頼んだのではなくても、自分のポケット・マネーを出して、平常指導訓育されて居る人達を使つて縣下の農民に東京の窮狀を話し、呼びかけられた、その結果旬日にして我々役人が考へてゐても出来なかつた、茨城縣と千葉縣から彼方からも此方からも米が出て來て、今度はその輸送に困つたといふ事實があるであります。かういふことはその腹に私利私慾のある人には出来ません。唯國を憂ふるといふ念から出て居ればこそ農民もついて行くのであつて、私はその信念とこの行動に對して頭が下る。その人が言はれることは無條件に信じていふと思ひます。

どうか東米商聯の人も全米商聯の方も、その他の商賣の方々も、本當にこの日本の現状に對して何とかしなければならぬといふ氣持で起つて頂きたい。さうしてこの時局下に於いて、配給機構の統制の結果、轉失業者が出ることも餘儀ないことであり、その配給業者を生産階級化することが國家のためにいふことであるとし、その一つの大きな抱擁力を持つものとして歸農の問題を取上げ、それに關聯して滿洲の廣い天地に進出することを考へ、農林省としてはその方面の御相談を受けて居るのであるが、皆さんの方でもこれらの人々の世話役になるといふ氣持で本當に眞剣になつてやつて頂きたい。私共も一緒にやつて行きます。

今日はどうも有難うございました。

(完)

406
159

昭和十五年十一月十五日 印刷
昭和十五年十一月二十日 發行

定價二十錢
(送料不要)

版權
所有

編者

社団法人 農村更生協會

發行者

東京市麴町區有樂町一ノ九ノ二
楠 正 克

印刷者

東京市芝區新橋三ノ二〇
友部 浩 幸

發行所

東京市麴町區有樂町一ノ九ノ二
社団法人 農村更生協會

電話九ノ内五〇三三番
振替東京八一九五〇番

印刷所 農村更生協會

終

